

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣商業高等学校 学校番号 26

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 知・徳・体の調和のとれた豊かな心と健やかな体を育成 (2) 地域、家庭、学校の連携協力による明るく、活力ある、地域社会人の育成	
2 評価する領域・分野	進路指導（就職指導・進学指導）	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> 「進路情報の提供」について生徒のA評価は5%減少(R4:53%→48%) C評価は増減なし(R4:3%→3%)であった。保護者のA評価は8%増加(R4:14%→22%)、C評価は6%減少(R4:14%→8%)した。 「具体的な進路指導」については生徒のA評価は2%減少(R4:48%→46%)し、保護者のA評価は9%上昇(R4:18%→27%)した。C評価は3%減少(R4:7%→4%)した。 進路の行事などはすぐに本校のホームページに掲載して、行事の様子などが伝わるように努力した。 全体的に生徒の評価が昨年度より低く、保護者の評価が高い。この原因は何かを探り、今後活かしていきたい。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇就職指導＝①内定率100% ②基礎学力・コミュニケーション能力の養成 ◇進学指導＝①志望する大学等への進学100% ②基礎学力の定着と大学入学共通テストに対応できる学力の養成	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> 全職員による指導意識の共有 全職員による小論文・面接指導 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 就職指導＝①就職試験対策講座の充実 ②面接指導の強化 ③内定者に対しての継続学習 (2) 進学指導＝①週間課題(英語・国語)の実施 ②志望動機の書き方指導 ③合格者に対しての継続学習	(1) 一次試験合格者数、面接練習の進捗状況の把握 (2) 週間課題(英語・国語)の取組状況の把握と補習への参加状況 (3) 内定者・合格者の継続学習への取組状況の把握 指定校合格者はスタディサプリの国・英実施	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
(1) 就職指導＝①ビジネスマナー講習会実施 ②適性検査実施 ③PTAによる面接指導実施 (2) 進学指導＝①小論文講習会 ②週間課題(英語・国語)実施 ③志望動機の書き方指導 ④有名私大受験対策講座実施	(1) 面接練習の進捗状況については、面接カードの定期的なチェックにより、把握した。 (2) 特に国語については、新聞要約などを定期的に配布した。 (3) スタディサプリの進捗状況チェックをした。	A B C D A B C D
11 成果・課題	【就職】 ・今年度は求人件数が西濃地区だけで約400件きたが、校内での就職者が減少しつつある。今後はいろいろな行事に参加させ、就職希望者を確保したい。 ・大垣商工会議所による西濃地区の合同企業展も例年通り実施できた。 ・今年度も求人票をデジタルデータで生徒・保護者に閲覧させ、好評だった。 【進学】 ・今年度は国公立大学・短大への受験希望者が19名いるが、12月末時点で10名が合格している。 ・指定校推薦で入学する生徒たちの合格後に行う課題として国・英のスタディサプリを行い、学力の定着に努めた。	
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> 3年生の保護者に対し、PTA総会で進路全般の話をして、進路に関する理解を深めてもらう。 志望理由書や小論文をAIが採点するシステムを導入し、教職員の負担軽減をはかる。 	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和6年1月23日

【意見・要望・評価等】 ・大学進学後、授業で不安を抱えることがないよう、確かな学力をつける必要がある。学習習慣を失わないためにも大学入学共通テストの取組に力を入れてほしい。 ・4月に行われた大学進学に関する奨学金の説明会は大変よかった。保護者向けの進路説明会を、オンライン開催で構わないので実施してほしい。
